

アキタゴールド

登録番号：第3176号

登録年月日：平成4年7月24日

登録者：秋田県(秋田県秋田市山王
4丁目1番1号)

育成者：丹野貞男 丹波 仁

佐藤 廣 加賀谷松和

田口辰雄 新妻胤次

来歴：「ゴールデン・デリシャス」と
「ふじ」の交雑実生

特 性

■栽培特性

樹姿は親品種の「ゴールデン・デリシャス」や「ふじ」に似る。枝はやや開張性で比較的角度の広い枝が発生する。樹の大きさや樹勢は中程度で、えき花芽の着生は「ふじ」と同程度。花芽の着生は比較的早く、長果枝でも着生しやすい。花芽は円錐～卵形で、花卉は風船状で淡桃色、満開時にほぼ白色、表面は「ふじ」に似て白いが、裏面は脈に沿って淡い桃色が残る。

発芽期から落花期まではほぼ「ふじ」と同様の初期生育を示し、栽培品種中、中位のグループに属する。花粉の稔性は高く3倍体品種を含む主要経済品種との交雑和合性はいずれも高い。ただし、「ジョナゴールド」との和合性は認められない。

結実率は高く、結実後の生理的落果については特に問題となる早期落果や成熟期の後期落果もほとんど認められていない。また、隔年結果も少ない品種と思われる。

■果実特性

果形は円錐～長円形で、王冠が認められるのが特徴であるが、樹勢が落ち着いてくるにしたがい円形で王冠の凹凸程度の軽微を示すものも見られる。

果皮の色は黄色で、色の濃さは中位である。果面のサビ、ヒビはほとんど認められず、果皮の光沢およびろう質は中程度で果粉は認められず滑らかである。

肉質はち密で、硬さは硬い品種群に属する。果肉の色の変化は弱いほうに属し、蜜入り果が認められ、多いものは果肉に霜降り状に入る。甘味は中ぐらいで糖度13～15%、リンゴ酸含量は0.5%前後、食味は果汁が多く適度の酸味があり、歯ざわり良く、さわやかな味で品質は優れている。果実の重さは300g前後で、外観の大きさに対比してやや重く、果実の比重は高い品種群に属する。

収穫期は秋田県で10月中旬で、「ゴールデン・デリシャス」と同時期である。

10月中旬収穫の中生種リンゴとしては日持ち性が良く、常温で約1か月、冷蔵だと翌年3月末まで鮮度保持が可能である。特に酸含量の減少は他品種より少ない傾向を示す。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点と地域適応性

うどんこ病、斑点落葉病は通常の防除剤散布条件下において葉での病斑はほとんど認められない。斑点落葉病菌の接種試験においても発生は認められなかった。

収穫適期：食味、日持ち性を高めるため、適期収穫を実施する。適期は満開後15日前後。収穫期が遅れると果面にワックスがあがる傾向がある。また、黄色系品種の果実は、樹上で緑の葉に囲まれているときには、黄色がやや濃く見えるので、未熟果の早取りをしないよう「ゴールデン・デリシャス」の果実カラーチャートで4程度となったら収穫する。

中玉生産：樹勢が強すぎると長円錐形となりやすいので、大玉生産を目的とする多肥栽培は避ける。大玉は食味、貯蔵力の低下に結びつく。良品生産には充実した花芽の着成と早期摘果、適正着果量に心がけ、中心果の利用と、強剪定を避け、多肥を控えて樹勢を落ち着かせる。高品質果実を生産するためには特に日当たりが良くなるよう配枝する。

土壌その他に対する適応性は比較的広いと思われるが、有効土層の深い所に適する。

(丹波 仁)